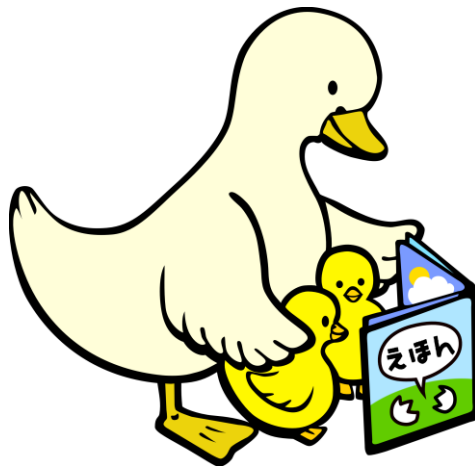


ここでは、絵を書いた人のアイウエオ順に紹介しています。図書館の本棚の絵本も同じように並んでいます。



0・1・2歳から えほん



赤ちゃんの体の成長にミルクが必要なように、赤ちゃんの言葉と心をはぐくむためには、抱っここの温かさの中で、優しく語りかけてもらう時間が大切だといわれています。

絵本は、そんなかけがえのないひとときを過ごすためのひとつのツールです。

親子がいっしょに楽しみながら、絵本の世界を遊んでみませんか。

越前市立図書館

越前市中央図書館
越前市高瀬2丁目7-24
TEL 0778-22-0354
FAX 0778-21-2001

越前市今立図書館
越前市定友21-3-1
TEL 0778-43-0229
FAX 0778-42-3566

E
ア

がたんごとん がたんごとん

安西 水丸/作



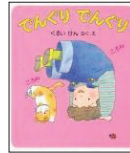
(福音館書店)

「がたんごとん」と走る機関車に、「のせてくださいーい」と現れるのは、哺乳瓶、スプーン、リンゴ…。終点は女の子の食卓で、みんなにっこり。「がたんごとん」のリズムに合わせて、体を動かしてみても良いでしょう。

E
ク

でんぐり でんぐり

くろい けん/作・絵



(あかね書房)

けんちゃんがでんぐりがえりをして、ころんと転がった先には、ねこちゃんがいきました。でんぐりがえりをする度に増えていくお友達。どろんこになっても嬉しそうなけんちゃん達から、みんなで遊ぶ楽しさが伝わってきます。

E
イ

おふろで ちゃぷちゃぷ

松谷 みよ子/文 いわさき ちひろ/絵



(童心社)

あひるちゃん、タオル持って、せっけん持ってどこいくの？ 服をぬぎながら「まってまって」と追いかけていく赤ちゃんが、優しい色調で描かれています。読んでいるうちに、お風呂に入りたくなるような絵本です。

E
コ

サンドイッチ サンドイッチ

小西 英子/作



(福音館書店)

さあ、サンドイッチを作りましょう。ふわふわパンにバターをぬって、緑のレタスに真っ赤なトマト、オレンジ色のチーズにピンク色のハム、きゅうりと卵ものせたら、おいしそうなサンドイッチのできあがりです。

E
ウ

ぎったん ぼっこん

なかえ よしを/文 上野 紀子/絵



(文化出版局)

動物たちが次々とやってきてシーソー遊びを楽しみます。うまくバランスがとれるかな？ 「ぎったん、ぼっこん」と声に出したり、いっしょに体をゆらしたりして楽しんでみましょう。

E
ゴ

きんぎょが にげた

五味 太郎/作



(福音館書店)

金魚鉢から逃げ出したきんぎょが、家の中を泳ぎまわり、植木鉢のお花になったり、キャンディになったり…。きんぎょを探しながら「こんどはどこ？」と子どもとやりとりすると盛り上がる絵本です。

E
ウ

ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを/作 上野 紀子/絵



(ポプラ社)

お母さんが編んでくれた、ねずみくにぴったりの赤いチョコッキ。次々と動物たちがやってきては、「ちょっときせてよ」と言うものだから、とうとうチョコッキは伸びに伸びてしまい…。はじめての物語絵本としてオススメです。

E
ゴ

たべたのだあれ

五味 太郎/作



(文化出版局)

さくらんぼやいちご、めだまやきにドーナツ、食べたのだあれ？ まちがい探しのように、動物の絵の中に絶妙に隠れている食べ物を見つけて楽しめます。そして、ページをめくるたびに動物がどんどん増えていきますよ。

E
カ

だるまさんが

かがくい ひろし/作



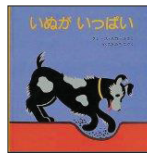
(ブロンズ新社)

「だるまさんがころんだ」のフレーズで、ゆっくり読んであげてください。だるまさんのおかしな表情や動きに、子どもたちは、大人がびっくりするほど笑い転げてくれます。手元に置きたくなる絵本です。

E
ス

いぬが いっぱい

グレース・スカール/作



(福音館書店)

おりこうな犬、いたずら犬、お昼寝中の犬…。いろんな犬が、しゃれた色と線で楽しげに描かれ、最後はみんないっしょに「わんわん」なきます。赤ちゃんもそんな共通点を見つけて、犬をワンワンと呼ぶようになるのかも。

E
キ

うずらちゃんのかくれんぼ

きもと ももこ/作



(福音館書店)

うずらちゃんとひよこちゃんが、かくれんぼをしています。「もういいかい」「まーだだよ」といいながら、かくれている二羽をみつけてみましょう。いっしょにかくれんぼをしている気分になれます。

E
セ

いないいないばあ

松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵



(童心社)

ページをめくるたびに、いろんな動物が「いないいないばあ」をやってくれます。最後に登場する「のんちゃん」を、お子さんの名前にかえて読んであげてみてはどうでしょうか。

E
セ

いやだ いやだ

せな けいこ/作・絵



(福音館書店)

ルルちゃんは、なんでもすぐに「いやだいやだ」。すると、お母さんも、おやつも、お日さまも、みんなそっぽを向いてしまいます。そしたら「どうするの？」 自我のめばえ始めたお子さんに、優しく問いかけてみましょう。

E
タ

おんなじ おんなじ

多田 ヒロシ/作・絵



(こくま社)

ブタのぶうとウサギのぴよんはなかよしで、靴も帽子もおもちゃもぜんぶ「おんなじ」！ でも逆立ちしてポケットの中から出てきたのは…？ 同じが嬉しいけど違うのも楽しい、そんな時期にぴったりです。

E
ツ

うたえほん

つちだ よしはる/絵



(グランママ社)

子どもたちにくり返し歌ってあげたい、こもりうたや童謡など、26曲紹介されています。1曲ごとに歌詞と楽譜とかわいらしい挿絵がついています。赤ちゃんといっしょに絵を見ながら、歌って楽しむことができる絵本です。

E
ト

どんどこ ももんちゃん

とよた かずひこ/作・絵



(重心社)

ももんちゃんが、どんどこどんどこ急いでいます。川を渡り、山を登り、クマを押しつけ、ももんちゃんが向かう先は、お母さんの胸の中！ 赤ちゃんの一途さが、ほのぼのとした絵で表現されています。

E
ナ

おいでおいでおいで

うちだりんたろう/作 ながのひでこ/作



(重心社)

「おいでおいで」さっちゃんの呼びかけで、小さな金魚から大きな怪獣まで、いろいろなお友達が集まってきました！ 最後に、こっそりとかわいらしく登場する動物にも注目です。よく見ると、ずっとどこかに隠れていましたよ。

E
バ

でんしゃ

パイロン・バートン/作・絵



(金の星社)

お客さんを乗せて電車が走ります。線路を走って、鉄橋を渡り、トンネルを抜けて…。途中で貨物列車や機関車と出会ったり、ふみきりや町を通ったりと、本当に走っている電車といっしょに旅をしている気分になる絵本です。

E
ハ

おつきさま こんばんは

林 明子/作



(福音館書店)

真っ暗な夜、ネコたちのいる屋根の向こうからお月さまが現れました。そこへ雲が出てきてお月さまを隠してしまいます…。短いけれど、起承転結があって、最後は笑顔で「おつきさまこんばんは」といえる絵本です。

E
ハ

きゅっ きゅっ きゅっ

林 明子/作



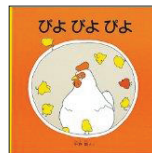
(福音館書店)

ウサギ・ネズミ・クマといっしょに、おいしいスープを飲みましょう。誰かがこぼしても大丈夫、「きゅっきゅっきゅっ」とふいてあげます。最後は、お母さんにおくちをふいてもらって「ごちそうさま」。

E
ヒ

ぴよ ぴよ ぴよ

平野 剛/作



(福音館書店)

ぴよぴよとヒヨコが一行に歩いてきます。その後ろをそうっと追うネコ。でもニワトリ母さんに追い払われてしまいます。文章は「ぴよぴよ」と「こっこ」だけですが、きちんとストーリー性をもった絵本です。色づかいもおしゃれ！

E
ヒ

くだもの

平山 和子/作



(福音館書店)

「さあどうぞ」とさしだされる果物。どれも、みずみずしくおいしそうに描かれています。子どももつい手がでてしまうことでしょう。最後にバナナだけは皮つきのままさしだされます。さあ、「むけるかな？」。

E
フ

ちいさな うさこちゃん

ディック・ブルーナ/文・絵



(福音館書店)

うさぎのふわふわさんとふわおくさんに女の子が生まれ、動物たちがお祝いに来ます。明快な線と鮮やかな色づかいの絵は赤ちゃんもよく見ているよう。シンプルですがきちんと筋のある物語も、ともに子どもたちをひきつけます。

E
マ

おひさま あはは

前川 かずお/作・絵



(こくま社)

おひさまがあはは、大きな木があはは、小鳥やさかな、お花もみーんなあはは。あれ、ぼくは…？ 声を出して笑うと、元気が湧いてくるから不思議です。ページをめくるたびに笑顔がいっぱいの明るい絵本です。

E
マ

あがりめさがりめ

ましませつこ/絵



(こくま社)

「あがりめさがりめ」や「いっぽんばし」など、15種類のわらべうたや手あそびが、あたたかみのある和風の絵とともに紹介されています。子どもと声を出しあい、身体を触れあいながら、楽しんでほしい絵本です。

E
ヤ

かお かお どんなかお

柳原良平/作



(こくま社)

大きく口を開けて「たのしいかお」、しょんぼりへの字の「かなしいかお」、目をつり上げて「おこったかお」。目が二つ、鼻が一つに口も一つ。同じ部分なのに少し形が変わるだけで、いろんな顔が登場します。

E
マ

じゃあじゃあ びりびり

まつい のりこ/作



(偕成社)

日常よく耳にする擬音や動物の鳴き声が、リズムカルに繰り返されます。はっきりした色づかいやコラージュが、赤ちゃんの興味をひくでしょう。本の大きさも赤ちゃんの手にぴったりです。

E
ヤ

どうぶつのおかあさん

小森 厚/文 藪内 正幸/絵



(福音館書店)

いろいろな動物のお母さんと子どもが移動する様子を、わかりやすい文章と美しく正確な絵で描いています。お母さんの愛情や、いっしょにいる子どもの安心感が、読み手にも伝わってくるような絵本です。

E
マ

ぴよーん

まつおか たつひで/作・絵



(ポプラ社)

縦開きのページをめくると、カエルやイヌやバツタなど、動物たちが次々と、気合たっぷりに「ぴよーん」と跳びはねます。親子で一緒に、「ぴよーん」を楽しんでみてください。

E
ヤ

わにわにのおふる

小風 さち/文 山口 マオ/絵



(福音館書店)

わにわにはおふるが大好きです。ゆぶねに「ぼくんぼくんぼくん」とおもちゃをうかべ、「じょろろーん」と入ります。木版画で描かれた少し不気味なわにわにが、ユーモアたっぷりに表現されています。

E
ミ

くつついた

三浦 太郎/作・絵



(こくま社)

きんぎょさんときんぎょさんが、ぞうさんとぞうさんが、くつついた！最後は赤ちゃんのほっぺをはさんで、おとうさんとおかあさんのほっぺもくつついた！ みんなが笑顔になれる絵本です。

E
ヤ

おはよう

ながかわりえこ/作 やまわき ゆりこ/絵



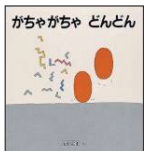
(グランまま社)

おひさまが、あくびをしながら雲のおふとんから出てきました。歯をみがいで、顔を洗い、お着替えがすんだら、パッチリ目があいて「おはよう！」身近な日常を、赤ちゃんにもわかりやすく描いています。

E
モ

がちゃがちゃ どんどん

元永 定正/作



(福音館書店)

「かーんかーん」「ぐにやぐにや」「とぼんびちゃ ぱちん」など、次々にページから飛び出すやんちゃな音たち。心が弾むような音の世界と、生き生きとしたカラフルな絵がうまく結びつき、子どもの想像力をかきたてます。

E
ワ

しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん/絵



(こくま社)

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。焼けていく様子が、「ぼたあん」「びちびちびち」「ふくふく」…と見開きで描かれる場面は子どもに人気です。作ることの楽しさと、食べることの喜びが伝わってきます。

E
ヤ

たまごのあかちゃん

かんざわ としこ/文 やぎゅうげんいちろう/絵



(福音館書店)

たまごの中にかくれんぼをしている赤ちゃんはだれかな？「でておいでよ」のかけ声に、ヒヨコ、カメ、ヘビ…次々と赤ちゃんが生まれます。最後にたまごを割って出てくるのは…？

E
ワ

てんてんてん

わかやましずこ/作



(福音館書店)

「てんてんてんてんとうむし」「ぐるぐるかたつむり」。リズム感のある言葉と、鮮やかな色づかいで、虫たちが大胆に描かれています。赤ちゃんがはじめて読む虫の絵本としてぴったりの一冊です。